

EDAが推奨するデータロガー(アナライザー)は、SOFT ROX社製のロガーです。
 いままで、他社様でもすでにデータロガーと言われる機器は存在しており、すでに使用されている方々も多いことと思います。
 現在の通常のデータロガーは、ビッグデータを単に蓄積しデータとして保管するだけでした。
 このデータを活用するために膨大な時間と費用がせ発生していると思います。
 SOFT ROX社製のデータロガーは、蓄積したビッグデータを波形化して3次元で表現する事により
 今までにないデータの把握と解析が瞬時に出来るのが特徴です。
 (現在、この波形はSOFT ROX社の特許として守られています。)



上下限波形で常時監視、実験データを収集します。

1~10万波形以上を表示、1波形は1~300,000波形

SOFTROX	波形解析・波形判定	1型
SOFTROX	パターン解析・パターン判定	1型



外形寸法：幅280mm×奥行180mm×高さ45mm
 重量：約2kg
 他社の機器に比べ、本体は熱を発生しないように作っており、放熱の為に開口部は有りませんので、
 雰囲気の良い場所でも使用に問題は有りません。

SOFTROX波形解析・波形判定機は、アナログ1ch入力に対して、各種データ測定用途や波形判定外部出力など、データ測定のみではなく、リアルタイム常時監視の使用目的に応じた23端子があります。

測定・判定サイクル中に異常検知した時点で、外部アラーム出力をします。
 *他社製品は測定・判定サイクルが終わった後に出力：設備機器は異常時にアクションを起こす必要があります。

波形データ測定・監視方法

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 縦軸：アナログ 横軸：時間 | 一般的な波形測定・波形監視方法です。 |
| 2. 縦軸：アナログ 横軸：パルス | 寸法検査や移動距離に応じて変化するアナログ波形を測定・監視。 |
| 3. 縦軸：パルス 横軸：時間 | 繰り返し移動をする動作を測定・監視 |
| 4. サイクル中の指定ポイントのデータ | サイクル毎に経時変化するポイントのデータ測定・監視 |

PAUSE端子は、波形測定または波形判定中に端子に接点信号を入力すると入力している時間は、測定または判定を途中停止し
 ビデオ録画の様に測定や監視する必要のない部分をとばすことができます。
 他社の計測機器は、マルチプレクサで多チャンネル化しているために、チャンネルごとに独立した機能を持たせることができません

裏面部 端子台

